

情報セキュリティの3要素

関連:p60

機密性 認可された者だけがアクセスできるようにすること
(不正アクセスや情報の漏えいが無い)

- 対策の例: IDとパスワード等による認証

完全性 情報やその処理方法が正確かつ完全であること
(改ざんされていない・間違っていない)

- 対策の例: デジタル署名

可用性 必要時には確実にアクセスできること
(紛失・破損・システム障害等がない)

- 対策の例: 回線の二重化やバックアップ

情報セキュリティ(機密性)を保つ対策

関連:p61

認証 利用する権利の有無を確認すること

- ◆ ユーザIDとパスワード(望ましいPWは?・・・考察せよ)
- ◆ 生体認証: 指紋・虹彩・静脈・顔・音声等

• 認証突破の方法例

- ◆ ソーシャルエンジニアリング(社会工学的手法)
- ◆ キーロガー

問い: 8文字でPWを作る。それぞれ何通り?

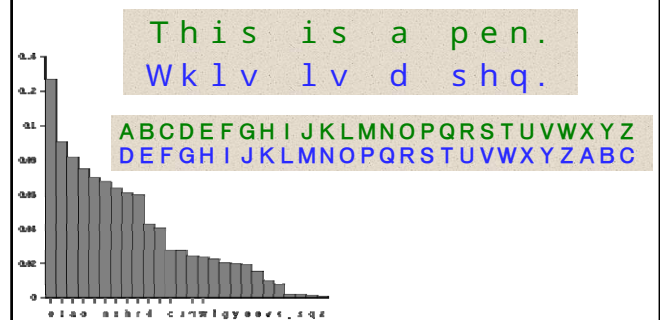
- (1) 数字だけなら?
- (2) 数字とアルファベット小文字なら?
- (3) 数字とアルファベット大文字小文字なら?
- (4) 1秒に200万パターン試した場合にPWを見つける最大時間は?

青少年科学館より



暗号の例

- 解読するには、アルファベット3文字、前にずらすとよい。



公開鍵暗号を例えると・・・

関連:p62

公開鍵暗号方式 • 二つの鍵を用意する。

- 秘密鍵で暗号化: 公開鍵でなければ復号できない。
- 公開鍵で暗号化: 秘密鍵でなければ復号できない。



問い: 私の公開鍵で暗号化した場合、復号によって情報を確認できる人はだれか。

デジタル証明書(電子証明書)

関連:p62

問題点: CがAだと名乗って秘密鍵を作り、公開鍵を公開しても通用してしまう。

解決策: 区役所の印鑑登録・印鑑証明と類似の方法。



認証機関
(認証サーバ)

⇒ 公開鍵が本人のものであることを、第三者が確認・証明するしくみ。

デジタル証明書
(電子証明書)

⇒ 認証機関が発行した証明。